

可児工、創立50周年式典 平成25年11月16日盛大に挙行



可児 工高 同窓会報

発行所
岐阜県立可児工業高等学校
同窓会
岐阜県可児市中恵土2358-1
TEL(0574)62-1185

印刷所
株式会社 サラト
TEL(079)284-1380

同窓会長 挨拶

機械科3回生 山田良二



同窓会報発刊にあたり、一筆ご挨拶申し上げます。

同窓会員の皆様には、各地域各分野においてご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、昨年度可児工業高校

創立50周年事業においては、会員の皆様方には大変なるご協力、ご支援を頂き、好評の内無事予定通り終えることができました。あらためましてお礼を申し上げます。

そして50年を経過し、会員の方の中には定年を過ぎ、第2の人生をゆったりと過ごしている方も多くおられるのではないかと思います。

さて、2020年東京オリンピック開催、2027年には中津川近郊に新駅(仮称・リニア岐阜駅)ができ、名古屋―東京間を約40分で結ぶリニア中央新幹線が開通予定である、我々にとって夢膨らむ出来事が待っております。

そうした夢が持てる話題がある反面、今後の日本は世界にも類のない超高齢化社会を迎え、国の財政運営の舵取りが大変しくなってきた状況であります。

しかし今後の日本を支える若者をつかり育てていかなければならないことは、この超高齢化社会の中で、社会としての一番の責務であり、同窓会としても母校をつかりバックアップしていかなければならないと考えます。

そうした中、在校生の皆さんも学業、クラブ活動とも一生懸命頑張っており、その成果が新聞等で数多く報道されており、今後とも会員皆さんと共に母校を見守って行きましょう！

最後に会員皆様方の今後益々のご活躍とご多幸を祈念申し上げ、会報発刊の挨拶と致します。

校長挨拶

校長 江口健治郎



同窓生の皆様には、日頃より本校の教育に御支援・御

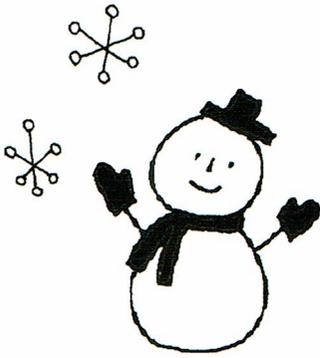
協力いただき心よりお礼申し上げます。特に昨年は可児工業高校創立50周年にあたり、多くの同窓生の皆様の御支援をいただきました。あらためてお礼申し上げます。おかげをもちまして記念式典も無事終了し、御支援いただいた施設・設備については授業や部活動で有効に活用させていただいてます。このような皆様の御支援により、部活動やコンテストでは後に示すような成果を収めることができました。

さて最近の本校生徒の進路に関わる傾向の1つに、就職試験においてコミュニケーション能力の不足を原因とした不合格者が徐々に増えてきたことが挙げられます。

コミュニケーション能力は一朝一夕に身に付くものではなく、また理論で教え込むものでもありません。学校生活の中で、教職員や友達と望ましい人

間関係を築いていく過程で、自然と身に付いていくものです。我々教職員は教育活動のあらゆる場面で、生徒たちと深く関わることで、自然な会話が引き出せるよう努めています。また生産系部活動の生徒を地域の催し物に協力させることで、人々と触れ合い、コミュニケーションの機会が多く持てるよう指導しています。本校ではこのように地域と連携し、生徒の育成を図ることに力を入れています。同窓生の皆様には地域の催し物などで本校の生徒を見かけた時は、ぜひお声をかけていただき、少しでも生徒のコミュニケーション能力が高まるよう、御指導いただければありがたく存じます。

地域に期待され、また貢献できる技術者を育成してまいります。今後も変わらぬ御支援・御協力いただきますようお願い申し上げます。



50周年記念事業の数々 同窓生の協力で無事整備できました

「創立50周年記念事業」
皆様の御協力で無事整備完了しました！

事業委員長・同窓会副会長 藤井 正人
(電子科19回生)

この度は県立可児工業高等学校創立五十周年記念事業にあたり、同窓会の皆様並びに、多数の企業の皆様から、多大なご協力とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。写真にありますように、各記念事業が皆様のお陰で、完成購入できました。

平成二十二年に、創立五十周年記念事業準備委員会を設立し、組織、事業内容、予算、日程を検討しました。そして、各実行委員会を立上げ、計画に基づき活動してまいりました。

各教室のエアコン設置につきましては、近年の猛暑を鑑みて先行して実施しました。以前は、生徒も教室で汗をかいていましたが、新設した、ランニング

コース、多目的コートで、運動して汗をかくて、鍛えていただきたいです。各事業が生徒たちの学力、体力の向上、そして学校生活の思い出につながれば幸いです。



ランニングコース



多目的コート



エアコン



スクールバス



部活動の活躍

現在20の部活動が活躍中です。同窓生の皆様、応援よろしくお願ひします。

バレーボール部 今年度の夏までの大会成績は県大会ベスト16、地区総体3位入賞でした。これから行われる大会では県大会ベスト8、地区総体優勝を目指して頑張ります。

バスケットボール部 県高校総体中濃地区予選会優勝。中濃地区高校総体優勝。部訓：「良き競技者である前に良き高校生であれ！」

テニス部 1、2年生の部員40名でインターハイ県大会出場を目指し、地域力もお借りして日々練習に励んでいます。

野球部 第96回夏の選手権岐阜大会初戦突破。新チーム秋季県大会出場。2年生9名、1年生16名在籍。県大会上位進出を目指して「謙虚に誠実に」活動していきます。

サッカー部 岐阜県リーグ3部（G3）D組6位、中濃地区総体2回戦敗退、という状況です。来年はG2に上がることができるよう部員たちは練習に励んでいます。

剣道部 今年度は、インターハイ出場、県大会3位、地区総体優勝することが出来ました。日々「将来、良き父親になるための、土台づくり」に励んでいます。

柔道部 インターハイ予選・地区総体で結果を出すことはできませんでしたが、日々練習に励み、着実に力をつけています。また、毎週土曜は加茂高校で練習しています。

ホッケー部 インターハイ県予選：3位、中濃総体：優勝、東海高校選手権：準優勝と人工芝のホッケーに何とかついて行けるように今後も全国目指して頑張っていきます。

ラグビー部 今年度成績は県ベスト8、地区総体準優勝。夏合宿以降、練習試合を重ね全国花園予選大会に向けて頑張ります!!

卓球部 中濃選手権大会第3位。活動方針の『強くある前に、正しくあれ』をスローガンに、日々頑張っています。

陸上部 短距離・フィールドは来年春からの大会を目指し、冬季練習を行っています！長距離は、冬の駅伝に向けて一致団結して全力で取り組んでいます！

ハンドボール部 県総体地区予選を約20年ぶりに突破し、県大会に出場しました。新人戦でも県大会に出場できるよう練習に励んでいます。

美術部 地区高校美術展にて優秀賞1名、奨励賞1名（県高校総体文化祭へ出品）各種展覧会等に出品できるよう、個々が作品制作に励んでいます。（10名在籍）

放送・新聞部（放送）NHK杯全国高校放送コンテスト10年連続出場（県大会朗読部門優勝）。高総体県激励会にて選手団に激励の言葉を述べる。全国総体文化祭出場。（新聞）可児工高新聞の取材・編集・発行。部員募集中！

吹奏楽部 吹奏楽コンクール県大会金賞を目指して取り組んでいます。また、中恵土公民館祭りなど地域行事にも積極的に参加しています。

機械システム部 第13回高校生ものづくりコンテスト東海大会優勝。第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会（東北）に向けて練習中。

電気システム部 ジャパンマイコンカーラリーでは、東海大会6連覇と全国大会入賞を目指して頑張っています。缶サットやものコン電気工事部門にも取り組んでいます。

化学技術部（旧応用技術、科学、化学、天文科学部）県ものコン化学分析7年連続入賞。H25年度は優秀賞・敢闘賞ダブル受賞。現在、県大会に向け練習中。外部イベントにも積極的に参加。

建設部 東海ものコン（測量部門）は惜しくも4位。12月の県大会に向けて測量部門・木材加工部門ともに練習に励んでいます。技能検定2級と3級の合格に向けて特訓中。

進学研究会 国公立大学合格を目指して活動中。特に、数学、物理、英語、小論文に力を入れています。



東海大会の様子



KYB株式会社にて練習風景

岐阜の旋盤を利用したこともあった、東海大会で使用する旋盤が、県大会と違うためポリテク器具を用意していただきました。必要ないただき、また、東海大会で

放送部は頑張っています！
前顧問の酒井眞司先生指導のもと9年連続で全国大会に出場をし、平成25年7月には、念願のNHKホールで県

これも保護者、先生、生徒の皆さん、地域の方々が、放送部の活動に快く協力していただいた結果だと思ひます。私たちが部員も今後がんばっていきますので、応援をこれからもよろしくお願い致します。



私は機械システム部に所属すること、で、「ものづくりコンテスト旋盤作業部門」に挑戦する機会をもらいました。旋盤競技は、支給された材料を課題作品に加工する競技です。作品は減点方式で採点され、寸法精度・面粗度・作業時間に応じて順位が決定します。1年生の県大会では5位に入賞し、2年生では準優勝することができました。県大会2位までの選手は、東海大会へ出場できるため、今年の8月に三重県で開催された東海大会に参加することができました。そして、東海4県の9選

機械科では、地元大手企業の「KYB株式会社」のご協力を得て、5年目となる産学連携を実施しています。高度な技術・技能教育を持った技術者から、旋盤による加工の指導をしていただき、ものづくりコンテストに挑戦しています。KYB株式会社で、県大会では約50時間ずつ、東海大会では約100時間の練習をしてきました。その練習の中で、寸法精度・面粗度・作業時間を熟練技能者の方にご指導を受けながら改善してきました。必要な器具を用意していただきました。必要ないただき、また、東海大会で

この原稿を書いている今は、全国大会に向けて日々練習をしています。大会までの日数も少なくなってきましたが、全国大会では、東海大会よりも高い技術が要求されると思ひます。1日1日の練習を大切に、大会に向けて頑張りたいと思ひます。このような機会は滅多にないことなので、優勝を目指し大会に臨みたいですね。（全国大会無事終了しました。惜しくも入賞を逃しましたが、良い経験となりました。）

今年度は、作品の台本の作成、演出、録音、編集などほとんどすべてを、生徒たちの手で行い（当たり前ですが）、作品を作り上げました。県大会では創作ラジオドラマ部門で2位、朗読部門で3年応用技術科の大西悠が優勝し、10年連続での全国大会（NHK杯全国高校放送コンテスト）出場を果たしました。そして県新人大会A部門では入選し、東海ラジオ（例高等学校ラジオ作品コンクール・アナウンス部門）では、大西悠が最優秀賞となりました。



頑張る可児工生

手の中で私は見事優勝することができました。その結果、11月に秋田県で実施される全国大会に出場することが決まりました。



表彰状を手にする加納君

この原稿を書いている今は、全国大会に向けて日々練習をしています。大会までの日数も少なくなってきましたが、全国大会では、東海大会よりも高い技術が要求されると思ひます。1日1日の練習を大切に、大会に向けて頑張りたいと思ひます。このような機会は滅多にないことなので、優勝を目指し大会に臨みたいですね。（全国大会無事終了しました。惜しくも入賞を逃しましたが、良い経験となりました。）

下初の全国優勝を果たし全国735校の頂点に立ちました。そしてさらに、11月に岐阜県の新人大会では、A P（オーディオ・ピクチャー）部門で優勝をし、翌平成26年7月、日立市で行われた全国高等学校総合文化祭へ出場しました。



部員と優勝杯・賞状



写真で綴る学校の様子



事務局より

◎収支報告について

本来であれば、同窓会報に掲載もしくは同窓会総会で報告するものですが、経費削減のため、同窓会のホームページ（以後HP）での報告に変えさせていただきます。下記にアドレスを紹介しましたので、是非ご覧ください。

併せて、HPにて近年の同窓会の取り組みについてスナップつきで紹介されていますので是非ご覧ください。

<http://www.ck.ne.jp/~kaniko-doso/>

◎情報提供のお願い

卒業生が各界でご活躍なさっていることと思いますが、事務局ではなかなか把握することができません。本誌でそうした皆さんの情報を発信していきたいと思っておりますので、ご存じの方がいらっしゃいましたらご一報ください。

可児工同窓会 E-mail
kaniko-doso@ma.ck.ne.jp



しかし、近年県内企業への就職希望者が増加の傾向にあり、昨年度は就職者のうち、県内企業が約65%となりました。地域に根差した工業教育を進め、可児地区唯一の工業高校として取り組んできた本校にとっては、卒業生が地元へ残り地域に貢献できる状況にあることはたいへん喜ばしいことであると思えます。

さて、2年間の本校の求人状況は上昇傾向にあり、本年度に関しては表にありますが、昨年度を大きく上回り有効求人倍率5.8倍となっております。

これは、求まれる企業の方がおっしゃるよう、卒業生の皆様の活躍が本校の信頼と実績に繋がった結果であると考えます。誠にありがとうございます。

	25年度	26年度
求人企業数	426	489
求人数	533	711
就職者数		
機械科	37	53
電気システム科	34	30
応用技術科	26	25
建設工学科	19	12
進学者数		
機械科	22	17
電気システム科	6	5
応用技術科	9	13
建設工学科	9	18

※26年度は就職・進学は希望者数

これからの皆様に負けないよう社会で活躍できる生徒の育成に努力していきます。皆様の今後益々の御活躍と後輩の御支援をよろしく願います。

最近の進路状況

進路指導部
部長 水野茂之

本校の進路状況は大きな変化はなく、就職希望者約70%、進学希望者約30%です。

心より感謝申し上げます。進学については、本年度増加の傾向にあり目的を持って進学するよう指導しています。さらに、進学補習などを行うなど進学後を見据えた学力向上にも取り組んでいます。また、2年生からは進学系というコースを設け、選択者には7限授業を実施するなど普通教科を強化したカリキュラムとしています。